

刊行のことば

刊行のことば

「先用後利」という独特の商法で知られる本県の家庭薬配置業は、江戸時代以来約三百年にわたる伝統産業として全国的にも有名です。

富山県では、この本県薬業の発展過程を明らかにし、歴史的遺産である貴重な資料を集め、記録するため、昭和四十八年度から『富山県薬業史』の編さんを進めてまいりました。

『富山県薬業史』は、資料集成上・下二巻、通史一巻の計三巻から成りますが、このたび、置県百年記念事業として、このうちの資料集成二巻を発刊する運びとなりました。

本集成は、幕末期から昭和五十年代までの本県薬業の発展に関わる重要で基本的な資料を収録しております。

これらの資料を通じて、富山の売薬が先人の類まれな知恵とバイタリティーによって、江戸時代以降日本国内は無論のこと、遠く海外各地までも進出し、今日の地位を築くに至った足跡をたどって頂けるものと信じます。

本集成の刊行にあたり、編さんの御指導・御助言を頂きました富山大学名誉教授・富山女子短期大学教授植村元覚氏、富山大学経済学部助教授小松和生氏をはじめ、編さん委員の方々、貴重な資料の提供など御協力を頂きました各位に対し厚く御礼を申し上げます。

昭和五十八年五月

置県百年を記念して

富山県知事 中 沖 豊